

画像レポートを用いたリアルワールドデータのバリデーションに関する研究

1. 研究の対象

2008 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に当院を受診された方を本研究の対象としています。

2. 研究目的・方法

本研究は、画像診断レポートに記述された臨床情報を機械学習により構造化し、リアルワールドエビデンスとしての可能性について評価します。具体的には、“がん”のような重要所見を正しく抽出できるかを評価し、また、レセプト・DPC などの保険データを用いてその結果の妥当性を検証します。

【研究期間】

調査データ該当期間：2008 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

研究期間：研究機関の長の許可日～2029 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2024 年 8 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報、レセプト、DPC などの保険データ、がんの種類、診断日、ステージ情報、検査レポートなどの医療記録

4. 外部への試料・情報の提供

得られたデータは主たる研究機関である大阪大学へ送付後、整形を行った後、各共同研究機関の研究者へ提供し、分析を行います。外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 患者個人情報保護について

本研究で収集した情報については、個人が同定できない形に匿名化を行います。患者さんを特定する情報（カルテ ID・氏名・住所・生年月日等）は解析前に削り、代わりに新しく研究用の符号をつけた後、セキュアなネットワークを介して、大阪大学医学部附属病院へ送付・一元化し、それを最終的なデータベースとして研究に利用させていただきます。対応表は、各医療機関における研究責任者が保管・管理し、施設外に持ち出すことはありません。

6. 研究組織

研究代表機関：

大阪大学大学院医学系研究科 武田 理宏

共同研究機関：

大阪急性期・総合医療センター 森田 孝

大阪国際がんセンター 西村 潤一

大阪医療センター 松村 泰志

大阪労災病院 平松 直樹

市立東大阪医療センター 中 隆

7. 研究成果の公表について

本研究成果は学会や誌上で発表することがあります。この際、公表するデータは統計処理されたデータと結果のみであり、患者の診療記録や医療従事者が記録をそのまま発表で使用することはいたしません。そのため、公表内容から個人を同定することは出来ません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒578-8588 大阪府東大阪市西岩田三丁目4番5号

地方独立行政法人市立東大阪医療センター

医療技術局 局長：倉橋 達人

電話番号：06-6781-5101（代表）